

環境浄化への挑戦 - セシウムの捕獲を例に

担当: 量子エネルギー工学専攻 新堀・千田研究室

新堀 雄一 教授、千田 太詩 准教授、○ 関 亜美 助教 (022-795-6338, tsugumi.seki.a5@tohoku.ac.jp)

集合場所: 量子エネルギー工学専攻(キャンパスマップ A40) 413室

集合日時: 10月3日(火) 16:30～、2回目以降は要相談



酸化カルシウム
CaO



二酸化ケイ素
SiO₂



水
H₂O

酸化カルシウム、二酸化ケイ素、水を使って
カルシウムシリケート水和物 (C-S-Hゲル) を作り、
水溶液中のセシウムイオンをどのくらい
捕まえられるかを実験で確かめます。

極低濃度まで測れるイオン濃度分析



原子吸光分析装置
(AAS)

試料の表面を拡大して観察



卓上電子顕微鏡
(SEM)



デジタルマイクロスコープ
(DMS)